

# ENTERTAINMENT



『オペラ座の怪人』  
ガストン・ルルー／著  
三輪 秀彦／訳  
東京創元社(創元推理文庫)  
1987年

夜ごと華麗な舞台が繰り広げられる世紀末のパリ・オペラ座。だが、その地下では全く別のドラマが進行していた。幽霊騒ぎをきっかけに、続発する奇怪な出来事。

愛する歌姫クリスティーヌ・ダーエを追って事件に巻き込まれたラウル・シャニユイ子爵の運命は？オペラ座の奈落の闇にひそむ幽霊とは何者なのか？闇を支配する怪人と対峙したラウルが目にした、想像を絶する光景。そして怪人と歌姫の真実とは…。

「舞台」「映画」「ミュージカル」「漫画」など、これほど様々な媒体で表現され、長年愛され続けた作品も少ないのではないのでしょうか。

今回紹介した小説以外にもミュージカルを収録したCDや、小学校低学年の子が読めるような絵本に近い児童書など、色々な形で楽しめる「オペラ座の怪人」が図書館にはあります。

また、小説やCDはいくつかバージョンがあるので、読み比べや聴き比べをしてみるのも面白いかもしれません。

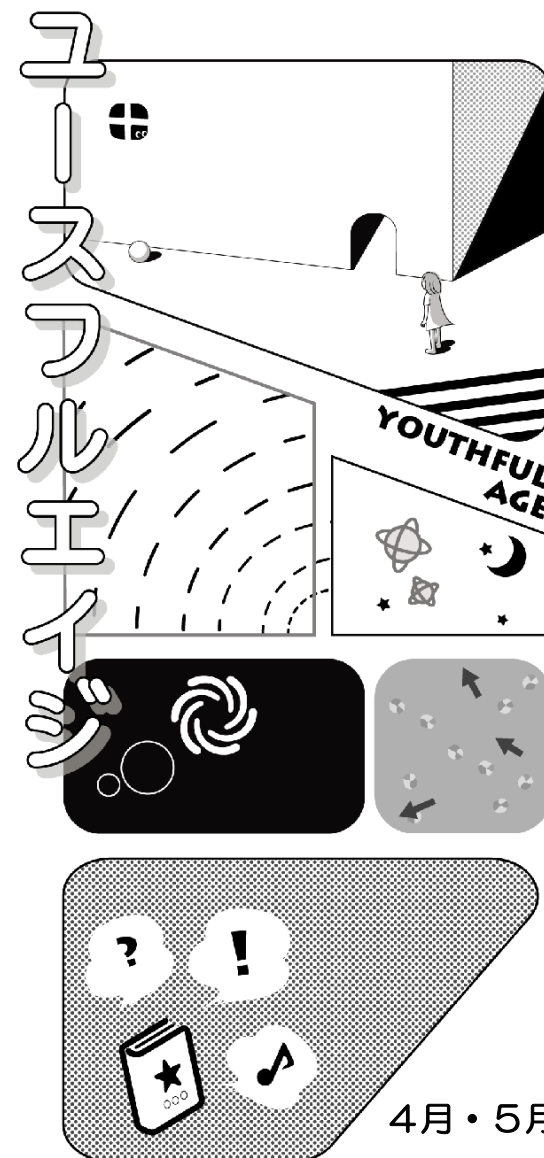
「ユースフルエイジ (Youthful Age)」は YA世代に送る、本・漫画・映画・音楽などのおすすめ情報を掲載した渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

YA(ワイエー)とは…  
Young Adult(ヤングアダルト)の略で、おおむね12歳から18歳までの人たちのことをさします。

ユースフルエイジ  
2022年4月・5月号【No. 7】

発行／編集 渋谷区立図書館  
株式会社図書館流通センター  
発行日 2022年4月

渋谷区立中央図書館  
電話 3403-2591  
住所 渋谷区神宮前1-4-1



4月・5月号  
【No. 7】

SHIBUYA CITY LIBRARIES

Pick  
Up!

## Recommended books

### ノーミュージック ノーライフ

音楽の街「渋谷」

あなたは音楽をどう楽しむ？ 聴く？読む？それとも…作る？

New!



『Oh! My God!!  
原宿ガール』  
きゃりーぱみゅぱみゅ／著  
ポプラ社 2011年

1枚のスナップ写真からあつという間に10代の女の子向けファッション雑誌の人気モデルに！アーティストとしても活躍する著者が、生い立ちからモデルになったいきさつ、家族のことなどをありのままに綴った1冊。



『オペラ座のお仕事』  
三澤 洋史／著  
早川書房 2014年

外国人音楽家とのバトル、公演でのハプニングなど、壮麗で威厳のある舞台からは想像できないエピソードが満載。新国立劇場で専属の合唱指揮者として活躍する著者が、波瀾万丈の舞台裏とその人間模様を明かす。



『表参道高校合唱部!』  
櫻井 剛／脚本  
桑畑 絹子／小説  
学研プラス 2016年

表参道高校の合唱部に入部した真琴。かつて名門と言われていた合唱部は、今や人数不足で廃部寸前。真琴は部員を集めるために奔走するが…。歌の力が奇跡を起こす青春感動ストーリー。



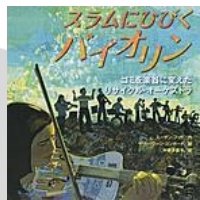
『吹奏楽部バンザイ!!』  
オザワ部長／著  
ポプラ社 2021年

青春をかけて大好きな音楽に没頭していた吹奏楽部員たちを突如襲ったのは、新型コロナウィルスだった。自分たちの音楽を外部に届ける機会を失ったが…。コロナに立ち向かった吹奏楽部員たちを描いたノンフィクション短編集。



『モーツァルトを聴く人』  
谷川 俊太郎／著  
堀内 誠一／絵  
小学館(小学館文庫) 2022年

谷川俊太郎の名詩集「モーツァルトを聴く人」全篇と、モーツァルトと音楽をめぐる選詩集「音楽ふたび」を収録。未刊行の、堀内誠一との共作絵本「ピアノの好きな王さま」もオールカラーで掲載。



『スラムにひびくバイオリン』  
スーザン・フッド／作  
サリー・ワーン・コンポート／絵  
中家 多恵子／訳  
汐文社 2017年

貧しいゴミ処理場の町で育ったカテウラ。バイオリンを教わることになったが、子どもたちには楽器が無く…。ゴミを楽器に変えたりサイクル・オーケストラの子どもたちが、世界中でコンサートを開くまでを描いた絵本。



『作曲少女Q』  
仰木 日向／著  
まつだ ひかり／イラスト  
ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス  
2020年

音楽知識ゼロから作曲を始めた高校生の山波いろはは、クラスメイトで天才作曲家の黒白珠美に作曲を習うことに。14日間の指導でなんとか1曲作るが、ぶつかる壁はなくなることがなく…。作曲の悩みに応える短編集。

## COLUMN

### 音楽と渋谷

渋谷はファッションやカルチャーだけでなく、音楽の発信地でもあることを知っていますか？

1990年代初め、渋谷を中心としたレコードショップやクラブを発信源に、音楽好きな若者たちの間で口コミで広がった音楽を「渋谷系」と呼び、ひとつのジャンルを創っていきました。

2000年代になると、渋谷系に影響を受けたミュージシャンを「ネオ渋谷系」とカテゴライズされるようになり、更に新しい音楽文化を創っていきました。

渋谷から発信された音楽を聴いてみて、自分のお気に入りの曲を見つけてみてはいかがでしょう？